

明日を拓く大地

北海道新篠津高等養護学校
学校だより第3号
令和7年3月24日発行
Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「地域での深い学び」

北海道新篠津高等養護学校長



令和6年度の教育活動も、年度末を迎えることができました。

3月7日（金）には「第30回卒業証書授与式」を挙行了しましたが、企業就労、福祉就労、専門学校への進学と32名の卒業生が学び舎を旅立って社会人としての第一歩を踏み出しました。

校歌では3番の歌詞に「世界に向かって翔びたとう」とあります。私は一人一人の卒業生がそれぞれの世界に向かって翔びたつ日が、「今、ここ」にあるのだなと思いつつ、共に校歌を歌っておりました。ぜひ、卒業生が生涯にわたって質の高い豊かな生活並びに人生となりますことを願います。

さて、本年度の教育活動を振り返りますと、学校経営方針で示しました「学校で完結しない教育」の教育理念に基づき、各方針から「地域環境・人材の活用を図る教育の推進」、「地域での体験的な学習の充実」、「地域での販売活動・納品活動などの充実」などに成果がありました。これらの観点を、今まで以上に意図的・重点的に意味付けて教育活動を展開するようにしました。「新しのつ青空まつり」では、生産品販売の他に合唱部とダンス部がステージ発表を行いました。園芸科と生産技術科は役場ロビーで製品販売を試みました。木工科は自治センターで単独学科販売を開催するとともに、令和7年度から村内幼児へ贈呈する積み木セットの製作もはじめました。クリーニング科は、福祉事業所の外窓清掃により地域貢献を試みるとともに、「新高マルシェ（校内販売会）」では「新篠津サイダー」などを仕入れて販売するなどの、新しい取り組みを成功させました。窯業科は道教育大学札幌校と札幌あいの里高等支援学校が共催するイベントに、生産品販売で出店しました。家庭総合科は道教委企画により、道庁で開催された高等養護学校の紹介イベントに出店してお客様への説明も行いました。

その他、学校運営協議会における地域での教育活動について熟議を行ったときにも、委員の皆様から学習活動の着想をたくさんいただきました。例えば、自治センターでの高齢者の方の活動時並びに地域の交流スペースを活用してのカフェ的活動については、次年度に向けて生産技術科が実施を検討しているところです。

深い学びは教室の中だけの学びでは不十分であり、質の高い体験的な学習による人とのかかわりにより大きな成果となります。それは知識・理解・技能の力を身に付けるだけではなく、心が震えるほどの感動体験が伴ってこそ深い学びに成りえるからです。

本校は開校以来、新篠津村の皆様にご支援をいただいておりますので、さらに地域での教育活動を充実することにより、「新篠津村でなければならない、新高の学び」を深めたいと考えております。

結びになりますが、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、次年度も本校の教育活動へ御理解と御支援をお願いいたします。

「同窓会入会式」

進路指導部 3 学年担当

3 月 7 日に卒業を迎えた 3 年生は、第 30 回生として同窓会に入会しました。同窓会長が来校し、「卒後巡回訪問」「しんしのつ会」「しんしのつだより」についての話を聞きました。その後に行われた先輩たちとの交流会には、29 回生の卒業生 4 名が来校してくれました。社会人となり大人っぽくなった先輩から、働く生活の中でのやりがいや、大変なこと、社会人として大切なことなどの話を聞くことができました。

また、3 年生からも先輩たちにたくさんの質問をしていました。先輩たちの経験談やアドバイスを聞くことができ、学びの多い貴重な時間となりました。



「採用・利用内定通知書交付式」

進路指導部 3 学年担当

3 年生の生徒たちに、進路先の内定通知書を手渡す「採用・利用内定通知書交付式」を校長室で行いました。校長先生が書面を読み上げ、一人ひとりに手渡しました。学級全員に渡し終えた後、学級の代表生徒が今後の抱負について述べ、決意を新たにしていました。緊張感のある雰囲気でしたが、みなさん堂々としていてとても立派でした。これからそれぞれの進路に向けて歩み始めるという実感が湧いたことと思います。学校生活で経験したことを糧に、どんなことにもくじけず、歩んでいけるよう願っています。



「卒後支援」(同窓会総会・しんしのつ会③)

進路指導部担当

令和 7 年 1 月 11 日(土)にライフオー・札幌にて、同窓会総会・しんしのつ会③が実施されました。当日は、1 回生から 29 回生まで、計 154 名が参加しました。同窓会総会では、今年度の同窓会行事についての議事や幹事紹介、質疑応答など同窓会長のスムーズな進行により有意義な総会となりました。

しんしのつ会③では、旧友との楽しい時間を過ごしました。景品が当たるビンゴ大会は、数字がスクリーンに映し出されるたびに歓声が起こりました。3 時間という限られた時間でしたが、久しぶりに顔を合わせた旧友と貴重なひとときを過ごし、懐かしい思い出を共有できました。また、お世話になった先生方と再会し、当時の思い出を語り合う様子は、まるで高校生時代に戻ったかのようでした。

今後もそれぞれの道で輝いていけるよう、陰ながら応援していきたいと改めて感じました。



「自分の『正解』」

3 学年主任

3月7日（金）春の息吹が感じられる30回生の卒業証書授与式が執り行われました。

直前まで体調不良で欠席していた生徒がおり、全員そろってこの日を迎えられるのか心配していましたが、32名全員が凛々しい姿で卒業証書を受け取り、希望に満ちた表情で学び舎を巣立っていきました。卒業生の答辞や合唱は、感動的で、会場全体があたたかい感動に包まれました。

卒業生の皆さん、あらためて卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした日々は私たち職員にとってもかけがえのない宝物です。これからはそれぞれの道を歩んでいくことになりますが、この学校で培った学びと経験を胸に、自信をもって自分の『正解』に向かって未来を切り拓いていってください。皆さんの今後の活躍を心から応援しています。

卒業生の保護者のみなさま、これまでの本校卒業の日まで一緒にお子様達の成長を共に見守ることができたことに心より感謝申し上げます。



「スキー学習」

スキー全体担当

今年度は天候に恵まれ、全学年が「北海道グリーンランド ホワイトパーク」で校外スキー学習を実施することができました。例年に比べて気温が高い日が続いたこともあり、ゲレンデの状況に心配もありましたが、雪質も問題なく、気持ちよくゲレンデを滑走する生徒の姿がありました。昼食はロッジにあるレストランで、自分の食べたいものを購入し、グループの友達と食べながら楽しむことができました。

今年度も、大きな怪我がなく、安全にスキー授業を終えることができました。スキー学習の実施にあたり、保護者の皆様には多くの御支援、御協力をいただき、ありがとうございました。また来年度もよろしくお願いいたします。



「卒業生を送る会」

生徒指導部担当

3月4日(火)に「卒業生を送る会」が行われました。1、2年生からは3年生への感謝の言葉やダンスのパフォーマンスがあり、部活動発表では3年間の集大成となる素晴らしいパフォーマンスの発表がありました。

3年生の学年発表では、3年間の数々の思い出の写真とともに、一人ひとりの今後の目標や夢がスライドで映し出

され、最後は生徒と教職員による合唱が披露され、感動的な発表となりました。

恒例のくす玉も見事に割れ、大盛り上がりの中、送る会を終えることができました。準備や運営に関わった新生徒会四役と実行委員のメンバーの皆さん、お疲れさまでした。



「ALTとの交流」

2学年ALT担当

2学年のALTとの交流は、令和7年2月10日(月)に実施されました。総合的な探究の時間で学習している“世界”という単元の一環でアメリカと日本の違いについて調べ学習を行っています。その中で生まれた疑問について、ネスミス先生に英語で質問をし、やり取りを行いました。事前に考えた質問を英文に起こし、ネスミス先生に伝わるように英語の発音練習も行いました。対面で英語に触れ合うことができ、実際にアメリカに住んでいた方からの話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごせました。



編集後記

今年度の学校だよりもこれで最終号となりました。1年間ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。